



令和5年7月14日

国土交通省関東地方整備局

荒川調節池工事事務所

B I M / C I M についての e ラーニング教材を H P に掲載

～初心者の方にも理解しやすい内容です～

B I M / C I M に関する基礎知識等を習得するために事務所職員用に作成した教材ですが、初心者にも理解しやすい内容となっていることから、荒川調節池工事事務所のホームページに掲載しました。

B I M / C I M について興味のある方であれば、どなたでも利用していただけます。

e ラーニング教材は「基礎編 1、2」と「説明編」に分かれており、以下のような内容となっています。

基礎編 1. B I M / C I M の概要・活用場面の理解促進

基礎編 2. B I M / C I M の活用に向けた基礎知識の習得

説明編 1. B I M / C I M 統合モデルの理解促進

なお、基礎編 1 と説明編 1 は動画でもご覧いただけます。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 東京都庁記者クラブ
さいたま市政記者クラブ さいたま市地方記者クラブ 川越新聞記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

電話：048-601-6045 メールアドレス：ktr-araike-chousa@mlit.go.jp

副所長（技術） 大須 栄一（おおす えいいち）（内線：204）

調査設計課長 鈴木 大祐（すずき だいすけ）（内線：351）

<https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/kensetsudx/e-learning.htm>

eラーニング教材はこちら



eラーニング教材の概要



建設DX
ARA
IKE
建設DX推進センター

基礎編

1. BIM/CIMの概要・活用効果の理解促進



2023年7月作成

- ・BIM/CIMの概要
- ・活用場面
- ・期待される効果

※動画もあります。(約8分)



建設DX
ARA
IKE
建設DX推進センター

基礎編

2. BIM/CIMの活用に向けた基礎知識の習得



2023年7月作成

- ・BIM/CIMの基礎知識
- ・BIM/CIMモデルの分類
- ・BIM/CIM対応のソフトウェア



建設DX
ARA
IKE
建設DX推進センター

説明編

1. 統合モデルの理解促進



2023年7月作成

- ・BIM/CIM統合モデルの概要
- ・統合モデル作成に必要な2つの専用ソフトウェア
- ・各ソフトウェアの機能

※動画もあります。(約4分20秒)

～荒川第二・三調節池は、建設DXを推進しています～

国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島8-17-1

TEL : 048-767-6041 MAIL : ktr-araike-chousa@mlit.go.jp



<https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/index.htm>

検索